

不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関における情報提供様式（任意記載）

医療機関名： 久留米大学病院

治療実績について

当院において、データの揃っている直近の1年間（令和3年1月から令和3年12月まで）に、治療開始時点において35歳以上40歳未満である女性に対して実施した治療の実績は以下の通りである。

【新鮮胚（卵）を用いた治療成績】

	IVF-ET	Split	ICSI	合計
採卵総回数（回）	77	当院では Split および ICSI は実施していない (令和4年から開始)		77
移植総回数（回）	5			5
妊娠数（回）	3			3
生産分娩数（回）	3			3
移植あたり生産率（%）	60			60

IVF-ET：採卵により得られた全ての卵子に対し、体外受精を実施

Split：採卵により得られた卵子に対し、体外受精と顕微授精に分けて実施

ICSI：採卵により得られた全ての卵子に対し、顕微授精を実施

【凍結胚を用いた治療成績】

	融解胚子宮内移植
移植総回数（回）	45
妊娠数（回）	23
生産分娩数（回）	16
移植あたり生産率（%）	51

来院患者情報

データの揃っている直近の1年間（令和3年1月から令和3年12月まで）に体外受精・顕微授精・胚移植を行った患者数（実数）は

25歳未満：（ 1 ）名
 25歳以上30歳未満：（ 8 ）名
 30歳以上35歳未満：（ 34 ）名
 35歳以上40歳未満：（ 47 ）名
 40歳以上43歳未満：（ 34 ）名
 43歳以上：（ 17 ）名

データの揃っている直近の1年間（令和3年1月から令和3年12月まで）に精巣内精子採取術を行った患者数（実数）は

20歳未満：（ — ）名
 20歳以上30歳未満：（ — ）名
 30歳以上40歳未満：（ — ）名
 40歳以上50歳未満：（ — ）名
 50歳以上：（ — ）名

治療指針について

- ・院内の総合周産期センターや他診療科と連携し、プレコンセプションケアに重きをおいた診療を心がけている。
- ・妊娠後は、総合周産期センターでの超音波スクリーニング検査や、遺伝外来でのNIPTなどの検査を行うことが可能である。

<令和4年度の取組>

- ・令和4年度より、男性不妊症の専門医を配置し、顕微受精を開始している。